



伊予市長  
中村 佑

新年あけましておめでとうございませう。

市民の皆さまには、輝かしい年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろは市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新生「伊予市」が船出をしてから、早や4回目の新年を迎えました。この間、本市の将来像であります「ひと・まち・自然」が、行財政改革に積極的に取り組むとともに、参画と協働によるまちづくりを推進してまいりました。これまで大きな混乱もなく市政運営を行えたことは、ひとえに市民の皆さまのご理解とご協力によるものと改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、市民の皆さまの厚い要望に応え、旧厚生年金休暇センターを購入し、都市総

合文化施設「ウェルピア伊予」として新たにスタートいたしました。文化創造の発信拠点として、また地域活性化の中核施設として成果を上げるべく、市民の皆さまにも積極的に活用していただきますようお願い申し上げます。

国の三位一体改革に伴う国庫負担金の廃止・縮減、地方交付税の見直しなどの影響により、本市の財政状況は依然厳しいものとなっておりますが、引き続き行政評価や補助金等の見直しを行うなど、これまで以上に改革に力を注いでまいりたいと思っております。

さらに、少子高齢化や過疎化あるいは多様化・高度化する市民ニーズに適切に対応するため、市民の皆さまと行政とが対等の立場で協力し合うことができる地域づくり、いわゆる住民自治組織の結成を支援しているところであり、参画と協働によるまちづくりを、これからも市民の皆さまの知恵と力をお借りしながら、推進してまいりたいと考えております。

最後に、市民の皆さまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、平成21年が、皆さまにとりまして幸多い年になることを祈念致しまして、新年にあつたつのご挨拶といたします。

## 新年明けましておめでとうございます



伊予市議会議員  
日野 正則

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様方には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市議会に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新市が発足して早くも5年目を迎えました。昨年を振り返ってみますと、私たちの生活に関係する社会経済情勢は、原油価格の高騰・サブプライム問題に端を発した金融危機等、あまりいい一年ではなかった感じがいたしますが、本年は景気回復等変革の一年にしたいものであります。

また、現在わが国では、財政力格差をはじめとする地域間格差が拡大し、交付税の減額による地方財政問題等、本市を取り巻く状況は大きく変化して

おり、地方分権を担うのにふさわしい行政体制の整備・確立が求められております。

一方、地方分権改革の進展に伴い、議会の果たすべき役割はますます重要なものとなり、議員の議会活動の位置付けと明確化、また議員の報酬に関する規定の整備について、法的な改正がなされたところであります。

市議会が市民の期待と信頼に応え、その機能を十分に發揮していくためには、まず、我々市議会議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員活動にまい進していきたいと考えております。

私は、新しい年を迎えるに当たり、決意も新たに、伊予市発展のため全力で取り組んで参る所存でありますので、どうか皆様方の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。